

令和4年度第2回公共調達監視委員会審議概要

佐賀労働局

1 開催日時

令和5年2月20日（月） 10:00～11:50

2 開催場所

佐賀市駅前中央3丁目3番20号 佐賀第2合同庁舎3階共用大会議室2

3 公共調達監視委員

委員長 児玉 弘（佐賀大学准教授）

委員 椿原 剛（弁護士）

委員 杉野 直志（税理士）

4 審査対象期間

令和4年7月1日～令和4年12月31日

5 審査件数

（1）公共工事	1件
（内訳）競争入札	1件
随意契約	0件
（2）物品役務等	7件
（内訳）競争入札	7件
随意契約	0件

6 議事録

【審議番号1：伊万里公共職業安定所空調機器更新工事】

（委員） 再度公告となった理由は何か。

（担当） 1回目の入札では応札者がなかった。

（委員） 応札者がなかった理由は何か。

（担当） 1者から参加申込があったが、同種工事の施工実績が競争参加資格に定める要件を満たしていなかったため失格となった。なお、大規模な工事であるため、公告期間を通常より長く設定していたが、他に参加申込はなかった。

（委員） 低入札価格調査はどのように実施したか。

（担当） 応札額の理由、手持ち工事の状況、労務者の供給見通し、経営状況等を調査し、契約の内容に適合した履行が可能と判断した。

- (委員) 落札率が29.1%となった理由は何か。
- (担当) 空調機器の価格について、応札額と予定価格とで大きな差があった。
- (委員) 空調機器の仕様はどのように定めていたか。
- (担当) 冷房能力や暖房能力が主で、参考品は示していなかった。
- (委員) 空調機器は、家庭用と業務用とで能力や耐久性等に大きな差がある。予算が十分にあったのであれば、業務用であることを明示して良質なものを購入する方法もあったと思われる。とはいえ、本件は安価に購入できたものであり、その点は評価する。
- (委員) 経年劣化した空調機器の改修とのことだが、具体的な不具合があったのか。
- (担当) 設置から30年以上経っており、故障が相次ぎ、その都度修理を行っていた。
- (委員) 空調機器の更新基準はあるか。
- (担当) 耐用年数や故障頻度を考慮し、計画的に更新することとしている。

【審議番号2：令和4年度佐賀労働局定期健康診断及びVDT健康診断業務委託(単価契約)】

- (委員) 1者応札が続いているが、その改善策として、仕様で佐賀・唐津・武雄・伊万里・鳥栖・鹿島の6地域に健診車を出すとしているところを、各地域の病院等で受診する方法に変えることはできないか。
- (担当) 職員が病院等へ行くためのコストや交通事故等のリスク、健診に要する時間が長くなることによる業務への影響等を考慮した場合に、健診車による方法が最適であると考えている。健診方法については、今後も費用対効果を考慮して合理的な方法を検討する。
- (委員) 検討に当たっては、他労働局や他官庁がどうしているかも確認されたい。
- (委員) 再度入札の回数は5回目までと決めているのか。
- (担当) 再度入札の回数は決めていない。本件については、新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から立会方式の開札は実施せず、事前に必要に応じて複数枚の入札書を提出することとしていたところ、5回分の提出があったものである。

【審議番号3：マイナンバーカード受付システム(仮称)の導入に係る機器等の調達】

- (委員) 参考品はどのように選定したか。
- (担当) 仕様を満たす品のうち、市場調査により最も安価であったものを選定した。

【審議番号4：令和4～8年度佐賀労働局の業務用自動車(軽自動車)賃貸借業務一式】

- (委員) 契約相手方の所在地が大阪府であるが、県外の会社も入札に参加できるのか。
- (担当) 全省庁統一資格において競争参加地域を九州・沖縄としている者であれば、会社の所在地に関係なく参加することができる。
- (委員) リース期間が50か月である理由は何か。
- (担当) これまで官用車は購入していたものを、順次、最長5年間のリース契約に切り替えているところであり、初年度は原則として車検が切れるタイミングで交換する

ため、車両によってリース期間が異なることになる。

(委員) 車両の点検等はどのようにして行うのか。

(担当) 官署付近にある契約相手方の提携工場が行う。

(委員) 1者応札の理由は何か。

(担当) 世界的な半導体不足による新車の納期遅延が原因と考えられる。複数の会社に声掛けを行ったが、他に応札はなかった。

【審議番号5：令和4年度第4回印刷物の作成】

(委員) 落札率が62.7%であるが、予定価格の積算は妥当だったのか。

(担当) 今年4月に実施した「第1回印刷物の作成」に係る入札では、ロシア・ウクライナ情勢による物価高を背景に、応札額が例年と比べ大幅に上がり不落札となった。本件の予定価格はその事情を加味して積算したものであり、妥当であったと考えている。

【審議番号6：令和4年度庁舎建築物及び建築設備点検調査業務委託】

(委員) 落札率が28.2%であるが、低入札価格調査は行わないのか。

(担当) 低入札価格調査は予定価格が一定の額を超える案件について実施することとしており、本件については実施していない。

(委員) 契約の履行を担保するため、落札率が低い場合はその理由を確認した方がよい。

(委員) 応札額間の差が大きいが、点検項目が応札者によって異なることはないか。

(担当) 点検項目は仕様書で詳細に定め、点検チェックリストも示しているため、点検項目が応札業者によって異なることはない。なお、本件は履行済で、既に点検チェックリストが提出されているが、内容に問題はなかった。

【審議番号7：令和4年度第3回備品・消耗品の購入】

(委員) 応札金額間の差が小さいが、何か事情はあるか。

(担当) 同種の調達案件は年に複数回行っているが、応札金額間に差がつくことも多く、特段の事情はないと考えている。

【審議番号8：令和4～8年度佐賀労働局の業務用自動車賃貸借業務一式】

(委員) 仕様書に示す年間走行距離を超えた場合、追加費用が発生する等はあるか。

(担当) 参考として現在の使用状況を示しているものであり、当該年間走行距離を超えたことをもって直接契約金額に影響するものではない。